

ハ マ ツ ウ 横濱通 養成講座

2026



創造都市の横浜郊外展開

- 日時 ㊦ 11月21日 | 土 | 14:00~17:00 (13:30~受付)
- 講師 ㊦ 熊谷 玄 stgk inc. 代表
㊦ 石垣曜子 UR都市機構 東日本賃貸住宅本部 神奈川エリア経営部エリア計画課
㊦ 野口敦子 横浜市にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課担当課長
- 進行 ㊦ 秋元康幸 横浜まちづくり倶楽部会員 / 横浜市立大学客員教授
- 場所 ㊦ 左近山団地 旧銀行建物 [定員40人] ※定員になり次第締め切ります
横浜市旭区左近山16-1 (相鉄バス旭1 / 旭6系統「左近山団地第2」バス停下車徒歩1分)
- 受講費 ㊦ 一般:2,000円 学割:1,000円 (学生証をご提示ください) ※現金のみ
- 申し込み ㊦ <https://forms.cloud.microsoft/r/kwenUKYzmX>

申込フォーム



横浜の初期の大規模団地である左近山団地は、歴史がありコミュニティも活発です。近年は、少子高齢化に伴う医療・介護・生活支援、働く場や住替えなどのニーズに応え、連合自治会地区の住民を対象とした特定非営利活動法人「オールさこんやま」、旭区役所やUR都市機構の実証実験から生まれたワークスペース「トリオ左近山」、左近山団地の管理組合が事業主で熊谷玄さんがデザインした「左近山みんなのになわ」、STGKが運営する「左近山アトリエ131110」など、先進的な活動が広がっています。今回は、「左近山みんなのになわ」のデザイン、「左近山131110」の運営にかかわるデザイナーの熊谷玄さんに加え、左近山団地を管理するUR都市機構の石垣曜子さんと、横浜市の創造都市の郊外展開を推進する野口敦子課長をお迎えし、地域の拠点として活用を検討している「旧銀行建物」を会場に、現地を案内とともに横浜郊外住宅地の将来像を考えます。

左近山 みんなのになわ

団地住民によるオープンコンペで、「左近山団地パークプロジェクト」を提案し採用された。計画の過程で広場を利用する住民の参加を徹底して促すプロセスも導入して設計し、多様な年代が、それぞれに楽しめる仕掛けがちりばめられた広場となっている。(グッドデザイン賞受賞)

左近山 アトリエ131110

左近山団地内商店街に、シェアキッチン、レンタルスペースと
いつも利用できるカフェを運営している。

アトリエでは、団地住民が「団地の暮らしを豊かに」をコンセプトに、
ワークショップや部活動など、様々な活動を展開している。

横浜通養成講座 | 横浜にこだわりをもってご活躍の方々をお招きして、活動内容やその真髄をお伺いしながら
横浜の魅力を多角的に学ぶ、という主旨で2001年から開催してきました。これまで計39回開催し、2006年には書籍も出版しました。



横浜の通になる本

横浜在住の作家、大学教授、クリエイター、老舗の経営者、横浜市長など、横浜を愛する30人が横浜の魅力を語る本。
2001年に始まった「横浜通[ハマトウ]養成講座」の記録を抜粋し、まとめたおしな記録集です。

価格: 2,200円(税込) サイズ: 四六判(18.5×13cm) 構成: 本文320ページ・巻末マップ 発行・編集: 横浜まちづくり倶楽部

一般社団法人横浜まちづくり倶楽部 | 1998年の都市デザイン国際会議をきっかけに、故北沢猛先生や元町商店街前理事長近澤弘明さん、NDCグラフィックス
故中川憲造さんらの発案で作られた団体で、学者、町方、役人など立場を超えた多様な方々で未来の横浜の街について議論、提言する団体です。